学校番号	３００２

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館）						
副教材等	現代高等保健体育　改訂版　ノート　（大修館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生きる力のひとつである「自分で課題を発見し、自ら学び、考え、主体的に判断し、行動し、よりよく課題を解決する能力を」育んでいく。

2　学習の到達目標

体つくり運動や各種の運動を通して、心と体を一体としてとらえるとともに、運動についての理解力や実践力を身につけ、生涯にわたって運動に親しめるようにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	公正、協力、責任、参画などの対する意欲をもって取り組もうしている。	自分や他人の運動の能力を理解し、レベルのあった課題を設定することができる。	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。	運動の特性やルールを理解している。効果的な学習を理解している。
評価方法	授業態度 ゲームやスキルテストの結果の分析	授業態度 スキルテスト	授業態度 スキルテスト 記録、ゲーム等の結果	授業態度 ゲームや記録の結果の分析

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 2 3	体つくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	○	○		○	a 体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b 狙いに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し実践している。 d 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	出席状況 授業態度
1 2	水泳	クロール 平泳ぎ 背泳 (個人メドレー)	○	○	○	○	a 水泳の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすることなどや水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b 生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し実践している。 c 水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	出席状況 授業態度 スキルテスト

2	ダンス	現代的なリズムのダンス 創作ダンス	○	○	○	○	a ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、互いの違いやよさを認め合おうとすること、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b 生涯にわたってダンスを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し実践している。 c ダンスの特性に応じて、交流や発表ができるよう、イメージを深めた表現や踊りをするための動きを身に付けている。 d ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、体力の高め方、交流や発表の仕方などを理解している。	出席状況 授業態度 スキルテスト
1 2 3	武道	柔道	○	○	○	○	a 武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b 生涯にわたって武道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し実践している。 c 武道の特性に応じた得意技、動作を身に付けている。 d 伝統的な考え方、技の名称や稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。	出席状況 授業態度 スキルテスト

1 2 3	球技	ゴール型 ネット型	○	○	○	○	a球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し実践している。 c球技の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 d技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。	出席状況 授業態度 スキルテスト
1 2 3	体育理論	豊かなスポーツライフの設計	○	○		○	A豊かなスポーツライフの設計について、課題を解決するための活動などを通して、学習に自主的に取り組もうとしている。 B豊かなスポーツライフの設計について、学習した知識を活用したり応用したりしている。 D豊かなスポーツライフの設計について理解している。	出席状況 授業態度 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断
c:運動の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。